

保証書

持込修理 無料修理規定



保管用

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼にできない場合は、弊社修理で相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	電撃殺虫器			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	OBK-GH120B OBK-GH130B	品番	08-1617 08-1618	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	★お名前 様						
	★ご住所 〒 ー						
	電話 ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理で相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

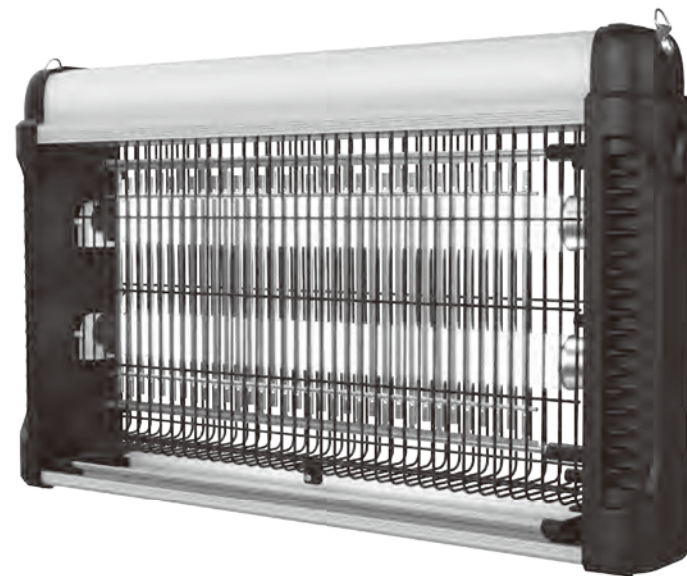
修理に関するご相談は **修理ご相談センター** へ
電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

取扱説明書 保証書付

電撃殺虫器

OBK-GH120B / OBK-GH130B

この度は、当商品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みにになり、正しくお使いください。また、保証書として大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1	誘虫灯交換方法	5
各部の名称	2	誘虫灯について	5
設置方法	3	故障かな?と思ったら	6
ご使用方法	3	製品仕様	6
お手入れ方法	4	保証書	7

安全上のご注意 必ずお守りください

- 人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
- お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
 (下記は図記号の一部です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。

 警告		
	必ず守る	●お子様や取り扱いに不慣れな方だけで使用しないでください。乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しないでください。 ショートして、火災、感電の原因になります。
	必ず守る	●設置場所付近に金属突出物がないかご確認ください。電撃格子（金属グリッド）との接触による、感電や故障のおそれがあります。
	禁止	●本品や周囲で可燃性ガスを含む殺虫剤やスプレーなどは使用しないでください。電気火花で可燃性ガスに引火して、爆発、火災、やけどなど重大事故の原因となります。
	必ず守る	●外枠が破損した場合は直ちに使用を中止してください。感電するおそれがあります。
	必ず守る	●本体の内部に異物を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	禁止	●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。故障や火災の原因となります。(傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしないでください。) 電源コード・電源プラグが破損した場合、自らの交換は危険です。ご使用になるのを直ちにやめ、購入した販売店または代理店にご相談ください。 ●コンセントの定格を超える使い方をしないでください。たこ足配線で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	必ず守る	●電源コードを抜く
	必ず守る	●この器具は屋内専用です。厩舎や納屋、軒下には取り付けしないでください。感電・火災・落下の原因になります。
	必ず守る	●不安定な場所や、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。落下して、火災・けがのおそれがあります。
	接触禁止	●電源を入れた状態で電撃格子に触れないでください。感電のおそれがあります。
	ぬれ手禁止	●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
	必ず守る	●電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで火災の原因になります。
	必ず守る	●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	必ず守る	●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持ってください。電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災・感電のおそれがあります。
	必ず守る	●異常を感じた場合はすぐに電源プラグを抜いてください。本体が破損した・煙が出ている・異臭がする・異常に熱いなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
	必ず守る	●清掃・点検をせずに長期間使用した場合、まれに発煙、発火、感電のおそれがあります。

 注意		
	水漏れ禁止	●湿気の高い場所や屋外で使用しないでください。本品は防水仕様ではありません。水のかかる場所や高温、多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。
	禁止	●電撃殺虫用途以外には使用しないでください。感電や故障の原因となります。
	禁止	●本品に衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
	禁止	●電源は交流100V以外では使用しないでください。故障、発火の原因となります。
	禁止	●誘虫灯を長時間直視しないでください。目に悪影響をおよぼすおそれがあります。
	禁止	●温度の高くなるものを器具の近くに置かないでください。火災の原因になることがあります。
	禁止	●湿気やほこり、油煙の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因になることがあります。
	必ず守る	●お手入れの際は、電源プラグを抜いてください。通電状態で行うと感電の原因になることがあります。
	必ず守る	●使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	必ず守る	●本品を据え置きしないでください。本体が転倒し、破損や故障の原因となります。
	必ず守る	●本体を分解しないでください。故障や破損の原因となります。
	必ず守る	●吊り下げ用チェーンの変形に注意し、必ず本体の重量に耐えられる強度の場所に、落下しないよう確実に設置してください。本体が落下し、破損、故障、けがの原因となります。
	必ず守る	●使用中に異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。弊社お客様相談室までご連絡ください。
	必ず守る	●清掃・点検の時は必ず電源を切り、絶縁ドライバーで電撃格子間をタッチし、帯電を除去してください。感電のおそれがあります。

各部の名称

〈付属品〉

吊り下げ用チェーン
専用ブラシ



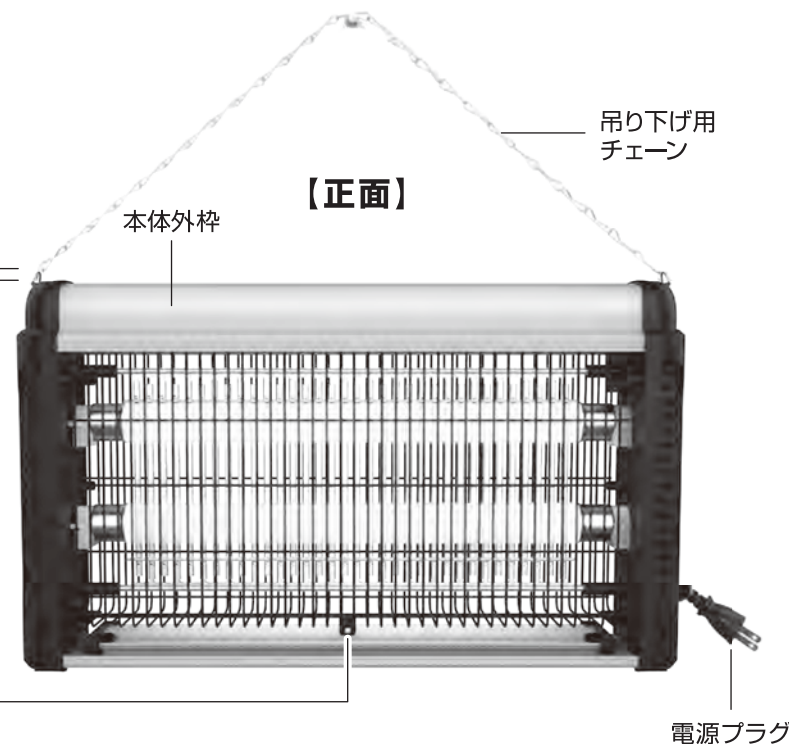
連結金具



吊り下げ用
リング

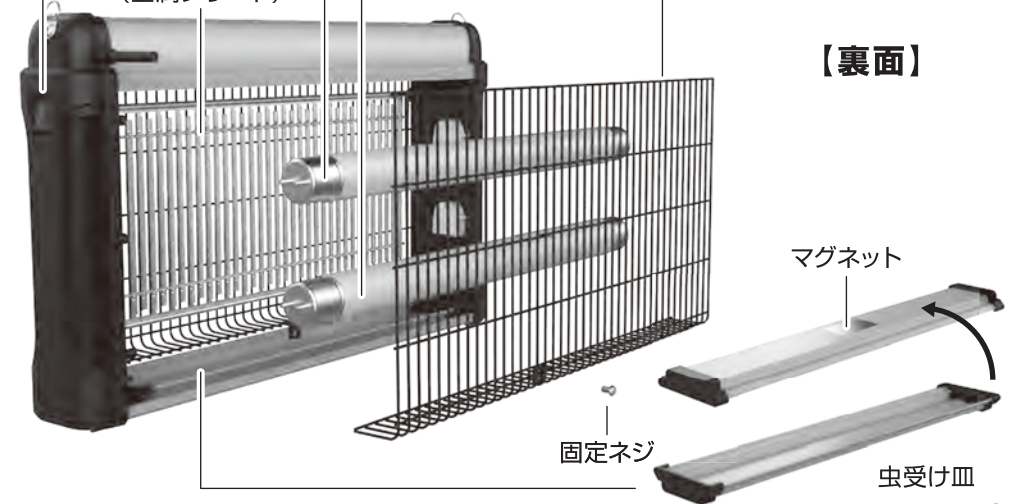


固定ネジ



【正面】

電源スイッチ 電撃格子 (金属グリッド) 誘虫灯 (蛍光管) 背面ガード



【裏面】

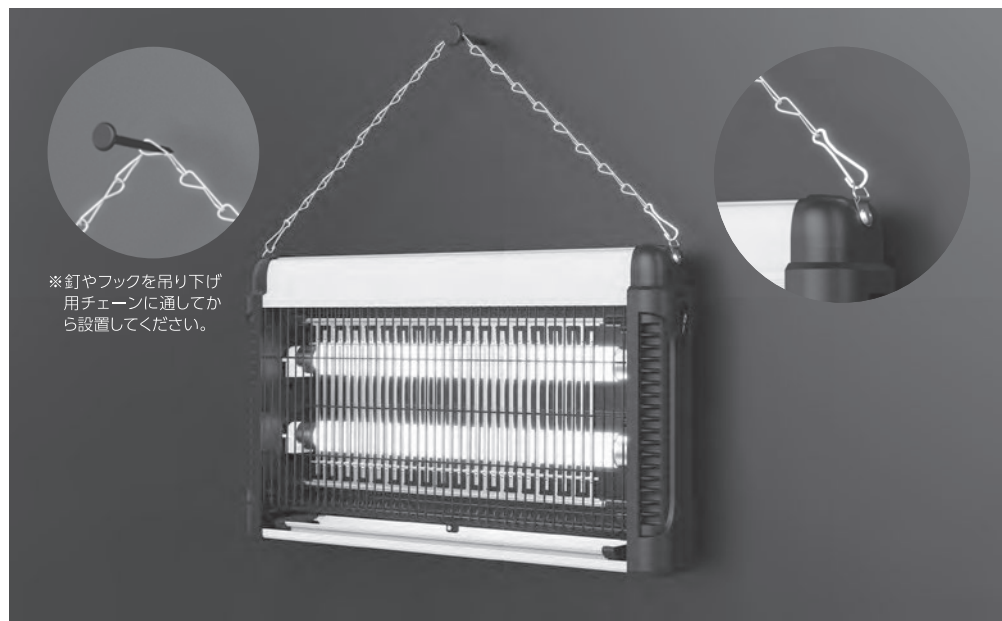
設置方法(屋内専用)

本体両側の吊り下げ用リングに付属の連結金具を取り付け、下図のような形で連結金具に付属の吊り下げ用チェーンを取り付けてください。

本体背面のガード側からは殺虫できない為、背面を壁側に向けて、壁掛けで設置してください。

必ず地面から1.8m以上の高さの場所に設置してください。

本体重量：約1.3kg (08-1617) / 約1.6kg (08-1618)



※釘やフックを吊り下げ用チェーンに通してから設置してください。



- お子様や取り扱いに不慣れな方だけで使用しないでください。乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しないでください。ショートして、火災、感電の原因になります。
- 設置場所付近に金属突出物がないかご確認ください。電撃格子(金属グリッド)との接触による、感電や故障のおそれがあります。

ご使用方法

- ① 安定した場所に確実に設置した後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 電源スイッチをONにすると、誘虫灯が点灯します。
(電圧の低いところでは約5～6秒かかる場合もあります。)
- ③ 誘虫灯の光におびき寄せられた虫を高電圧で電撃殺虫します。(薬剤は一切使用しません。)
- ④ 使用しない時は、電源スイッチをOFFにしてください。



誘虫灯に誘引されない虫もあります。

お手入れ方法



電源プラグを抜いた後も電撃格子間には高電圧が帯電しています。お手入れする前に、必ず「電撃格子の帯電除去方法」を参考にして、帯電除去を実施してください。(感電のおそれがあります。)
電撃格子の帯電除去時には必ず持ち手(グリップ)と先端(金属部)が絶縁された絶縁ドライバーを使用してください。(持ち手が一体になった金属製ドライバーを使用すると感電する危険があります。)

電撃格子の帯電除去方法

(電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認してください。)

- ① 絶縁ドライバーを使用し、電撃格子任意の2線間を同時に触れて、ショートさせます。(電撃格子をショートさせないと帯電除去の効果がありません。)
- ② パチパチッと電気火花を出させ、電撃格子の帯電を除去してください。(電源が切れた状態で長時間使用していない場合は電気火花が生じない場合があります。)



虫受け皿の掃除

虫の死骸は、本体底面の虫受け皿に集められるので、こまめに掃除してください。

虫受け皿を外す方法

- ① 作業する前に必ず本体の帯電除去を行ってください。
- ② 本体下に虫受け皿があります。矢印の方向にスライドさせて外します。
- ③ 虫受け皿に溜まった死骸を付属のブラシで掃除してください。

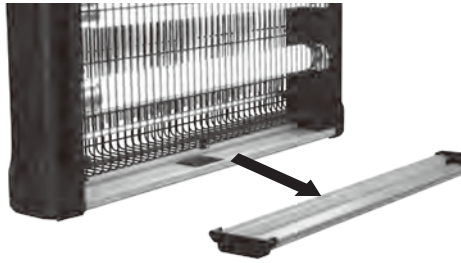


電撃格子に残った虫の死骸処理

- ① 必ず本体の電源を切ってください。(電源プラグをコンセントから抜いてください。)
- ② 作業する前に必ず本体の帯電除去を行ってください。
- ③ 付属のブラシで虫の死骸を取り除いてください。(虫が付着しますと電撃殺虫器の性能が低下する場合があります。)

※ 付属ブラシ以外では行わないでください。(電撃格子の変形や感電する場合があります。)

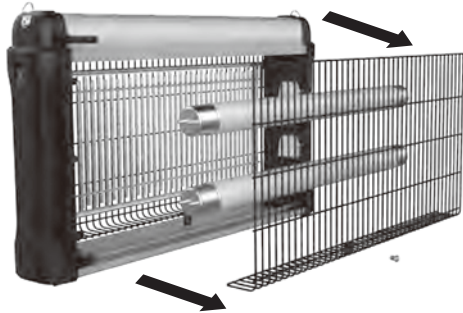
誘虫灯交換方法



- ① 帯電除去後（P4参照）、虫受け皿を外す
本体下に虫受け皿があります。矢印の方向にスライドさせて外します。



- ② 背面ガードを外す
本体下部にある固定ネジをプラスドライバーで外し、ガードを外します。



- ③ 新しい誘虫灯と交換する
古い誘虫灯を取り外し、新しい誘虫灯と交換します。誘虫灯の口金向きを注意しながら、新しい誘虫灯をゆっくりと差し込みます。

- ④ 背面ガードとネジを固定する
誘虫灯を交換したら、先ほどと逆の手順で外した背面ガードを取り付け、固定ネジをしっかり止めます。

- ⑤ 最後に虫受け皿を戻します。

【裏面イメージ】

お客様ご自身での交換が困難な場合は、弊社修理ご相談センターまでご連絡ください。

誘虫灯について

■誘虫灯の寿命

本体付属の誘虫灯定格寿命は約3000時間ですが、誘虫紫外線の発生量は点灯時間の経過により、徐々に低下します。

使用時に誘虫灯の端部が黒くなった場合は、誘虫灯が寿命末期と考えられます。

市販品のFL10BL(10形)もしくはFL15BL(15形)と交換してください。



誘虫灯交換時に電撃格子を変形させないよう十分注意してください。変形した場合は格子間の間隔が均一になるよう修正してください。（異常放電や捕虫効果の低下や故障の原因となります。）
誘虫灯はガラス製品です。取扱時に破損しないよう十分注意してください。（破損するとうけがの原因となります。）

故障かな?と思ったら

■修理を依頼される前に下記の項目をご確認ください。

症 状	ご確認内容	処置方法
誘虫灯が点灯しない。	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	●コンセントに電気が来ていますか？	●他の電気製品を使用して確認してください。
	●誘虫灯がソケットに確実に取り付けられていますか？	●誘虫灯ソケットに確実に取り付けてください。
	●誘虫灯の寿命ではありませんか？ 誘虫灯の両端が黒くなっていませんか？	●誘虫灯管を交換してください。 ※シーズン前に誘虫灯管の交換をお勧めします。
誘虫灯は点灯しているのに殺虫しない。	●周囲の照明が明るすぎるのではありませんか？	●本器より明るい照明器具が周囲にあると虫が集まりにくくなるので、他の照明を暗くしてください。
	●設置する向きが、逆向きに設置されてはいませんか？	●背面のガード側からは殺虫できない為、電撃格子の面を表面に設置してください。
	●虫の死骸が溜まっていませんか？	●電撃格子と虫受け皿の掃除をしてください。
	●一匹も殺虫しない。 「電撃格子の帯電除去方法」にて電気火花が出るか確認をしても電気火花が出ない場合	●電撃格子に電圧が発生していないことが考えられます。お買い求め店または弊社お客様相談室までご連絡ください。



警告

清掃や点検の際は、感電防止のため電源プラグを抜いてください。
お手入れの前には、必ず絶縁ドライバーで電撃格子の帯電を除去してください。

上記の処置を行っても復帰しない場合は、お買い求め店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

製品仕様（屋内専用）

型 番 / 品 番	OBK-GH120B/08-1617	OBK-GH130B/08-1618
定 格 入 力	AC100V 50/60Hz 14.5W	AC100V 50/60Hz 22W
定 格 2 次 電 圧	約DC1200V	約DC1200V
定格2次短絡電流	約6.0mA	約6.0mA
使 用 誘 虫 灯	FL10BL×2本	FL15BL×2本
本 体 寸 法	(約)幅410×高さ240×奥行65mm	(約)幅515×高さ240×奥行65mm
コ ー ド 長	約1.8m	約1.8m
質 量	約1.3kg(本体のみ)	約1.6kg(本体のみ)
付 属 品	吊り下げ用チェーン、ブラシ、保証書付取扱説明書	